



▲兵庫県内の町長が並んで記念撮影

10月、11月は、河川などの治水対策や道路整備についての要望会、また全国町村長大会などが東京で開催され、それに参加してきました。

要望会の会場や国会議員会館、各省庁など永田町や霞が関を数キロ歩いて回り、国会議員や各省庁の官僚の方々に直にお会いし懸案事業を説明した上で、予算の確保や事業採択をお願いします。

同様に、兵庫県知事に対しても、県下12町で要望会と意見交換会を実施しました。

党派問わず国会議員や県議員、また国県の関係職員など、多くの方々の協力によって要望会や意見交換会が実施され、それがまちづくりに直結していきます。

10月は、播磨町においても令和5年度当初予算の編成が始まる時期でもありますが、河川整備や道路整備など、市町をまたがるような大きな事業については、国や県との連携なしには成り立ちません。

また、近隣市町とも意見交換し、いろいろな事業について連携して実施していかなければなりません。

これは、糸と織物の関係と同じで、国と県(縦糸)と近隣市町(横糸)が「連携」してはじめて良いまちづくり(織物)ができます。

「連携」は、まちづくりの協働を生みだします。

「連携」により、国や県、近隣市町と力を合わせることで、一つのまちだけではできないことを成し遂げることができます。

「ワンチームはりま」のまちづくりを旨として、「連携」により、住民の皆様がより多くの幸せを感じていただけますよう、未来に向かって、みんなで考え、みんなで話し合い、みんなの力を合わせたまちづくりを実現していきましょう。

播磨町長 佐伯 謙作



## あんぜん・あんしん暮らしのメモ帳

播磨町消費生活センター ☎079-435-1999

ご相談は…お電話ご来訪どちらでもご相談ください。  
ご来訪の場合、産業環境課窓口にお声がけください。

▶相談日時 ※専門の相談員が相談に応じます。  
毎週月～金曜日(祝日、年末年始を除く)  
9時～12時 13時～16時

## やめられない!?「占いサイト」ひきのばされて 利用料金が高額に!

### 事例

スマートフォンを見ていて「無料鑑定」とあったので、気軽な気持ちでサイトに登録をした。だが、無料だったのは最初だけで、途中から鑑定料としてポイントを購入しなければならなくなった。占い師からよい事をたくさん言われて信じてしまい、「今やめたら幸せは来ない」と告げられて、気が付けば高額なお金を支払ってしまった。

### ひいきいひきい

●「占いサイト」に夢中になり高額な料金を支払ったという相談が寄せられています。

●「無料の占い」だからといって気軽に氏名や生年月日、メールアドレス等を入力すると、勝手に会員登録となり、複数の占い師からメールが届くことがあります。

す。大切な個人情報  
を安易に入力しない  
ようにしましょう。

●「無料」とうたった  
いても「有料」の  
やり取りに誘導させるサイトもあるので  
注意が必要です。

●「金運」や「恋愛運」についてよい言葉が書かれたメッセージが届いても、安易に返信しないようにしましょう。

●「やめたい」と思っても、占い師や鑑定士に「鑑定を最後までやらないと不幸になる」などと言って、引き止められるケースがあります。相手の言葉を鵜呑みにしないようにしましょう。

●占いサイトを退会すると、メールのやり取りを確認できなくなる可能性があるため、退会前にスクリーンショット等で証拠として内容を保存しておきましょう。



### 楽屋裏

今月号の広報はりまでは、「TOWN NEWS」のコーナーに多くの話題を掲載することができました。行政のうごき、ニュース、まちのわだい、イベントの報告などを写真と一緒に伝えたいと考えて作ったページです。掲載された写真は、写っている人にデータをお渡しできます。わんぱくはりまっ子の応募もお待ちしております。企画課までメールでお知らせください。  
(局)  
kikaku@town.harima.lg.jp

## ごあいさつ

播磨町教育委員

米津 実千代

このたび、播磨町の教育委員を拝命いたしました米津実千代と申します。  
私は13年間、社会教育委員として、また地域学校協働活動のコーディネーターとして、放課後子ども教室や、地域の教育力向上を目的とした様々な事業に携わってきました。その間、多くのボランティアの方々と出会い、つながり合えたことは、何事にも代えがたい宝物になっています。

部活動の地域移行やコミュニティ・スクール等、教育は今、「地域と共にある学校」の実現に向けて、地域と学校の連携、協働が求められています。今までに培った経験を活かして、少しでもお役に立てれば幸いです。まだまだ経験不足の私ですが、他の委員のみなさまをはじめ、ご関係の方々にご指導を仰ぎながら、一生懸命取り組んで参りたいと存じます。何卒よろしくお願いたします。



## 学びを通じたつながりづくり

播磨町は中央公民館やコミセンで様々な住民活動が広がっています。多くの活動では学ぶことを通じて、仲間づくりが進んでいます。

先日、播磨町でこどもの遊び場づくりを進められている団体「森のようちえん そとっこ」が「こどもの遊び場や居場所ってどんなところがいいの?」という講演会を開催されました。この講演会は播磨町のまちづくりを推進するまちづくりパートナー事業として実施されました。講師の塚本岳さんは、主に東海地方でこどもたちの自主的な遊び場としてプレーパークを作られています。危険が完全に排除され準備された遊び場と、こどもたちが自分で遊びを見つけている場の違いやその効果についてお話されました。例えば、「ハザードとリスク」は何が違うのか、ただ自由に遊ばせるだけではなく、こどもたちが自主的に遊べる環境を大人がどう見守れるかなど、大変興味

味深い内容でした。当日は約20人の参加があり、講演終了後に座談会が開かれ、参加者同士もつながる機会となりました。



▲講演会のチラシ

【まちづくりアドバイザーとは】 播磨町では、多様化・複雑化する地域の課題やニーズに、より細かく対応するため、2020年度より「まちづくりアドバイザー」を配置しています。自治会活動やコミュニティ活動、自主的なまちづくり活動について専門的な視点から支援します。

まちづくりアドバイザーがお届けする

## まちアド通信

協働推進課住民協働係  
☎079(4335)2364